国史跡 這田村法界寺山ノ上付城跡コース

コース紹介

法界寺の背後の山頂に位置する這田村法界寺山ノ上付城跡から、朝日ヶ丘土塁（多重土塁）、高木大塚城跡までを巡るコースです。

這田村法界寺山ノ上付城跡（平成25年3月国史跡指定）

三木と姫路を結ぶ湯の山街道の南側に建つ法界寺の背後の山上に位置します。北東に三木城跡とその先に羽柴秀吉の本陣平井山ノ上付城跡を見通すことができます。 城主は、秀吉の重臣・宮部継潤と伝わっています。

朝日ヶ丘土塁（平成25年3月国史跡指定）

朝日ヶ丘土塁は、這田村法界寺山ノ上付城跡の南東部に位置します。織田氏によって築かれたもので、三木城南側の付城群を多重の土塁でつないで、南側封鎖線が構築されています。これは商人による物資搬送、近隣諸勢力や毛利氏などから運ばれる兵糧などを止めて「三木の干し殺し」に決定的な役割をはたしたと考えられます。

コース 約2.5km

1時間10分
（見学時間を除く）

所要時間の目安

起点 法界寺

10分

1 這田村法界寺山ノ上付城跡

10分

2 朝日ヶ丘土塁

15分

3 高木大塚城跡

35分

終点 法界寺